

本能まちづくりリニュース

第9号 平成13年5月25日発行

本能まちづくり委員会
委員長 西嶋直和

本能再発見 毎日歩きたくなる町 開催される

5月12日、本能再発見第3弾として、「毎日歩きたくなる町」が開催されました。日頃は急いで見過ごすまちなかを、改めて見直し、写真に収めようというものです。



無名舎 吉田孝次郎邸

参加者は約30人。本能学区を中心に、烏丸・四条・堀川・御池通りに囲まれた地域を5グループに分かれて、歩きました。テーマは「図子とビストロ」・「職人・商売の老舗」・「鉾町」・「新しい建物」・「古い建物」等です。好天に恵まれた土曜日の午後、車通りが少なく、普段よりは道幅が広く感じられる町なかをゆっくり歩

いて、それぞれのテーマにそって、写真を撮りました。ちょうど、「芸術祭典・京」の「通りの内へ写真展」も開催されていたので、無名舎 吉田孝次郎邸や霰天神山町会所にも入ることができました。

約1時間半のまち歩き終了後、各グループごとに撮った写真を地図に貼り付け、気付いたことを発表しました。普段あまり通らない図子に、入ってみたいくなるような洒落たお店ができていて、オフィス街のいこいの路地になっていること。暖簾の奥でつくられている伝統的商品の販路が全国津々浦々へと広がっていること。鉾町の新町通りに山鉾や提灯を立てるための石礎が埋め込まれ、山鉾の高さ 重量によってその大きさも異なること、電線が道路の上空を横断していないこと。新しい建物の改装・新築の仕方にもいろいろあり、面白いデザイン・町家風のもの・新三階建がふえてきたこと。手を入れながら明治・大正期の建物が保存され、庇

本能再発見に参加して

(同志社大学 山中章義)

当日はほんとうにいい天気でした。私の背の何倍もある木々の、その葉たちが輝いていました。

綺麗な緑でした。
(どうして自然の色はかくも美しいのでしょうか)
そんな景色が見える、元本能校はなんて素晴らしい場所なのだろうと思います。

まち歩きには、新しい建物〃をテーマとしたD班に参加しました。
富田さん、杉下さんのもとで新しい戸建住宅を中心に本能を見て歩きました。
「こんにちばー」「あつ、お久しぶりですー」
このような会話が1時間半のまち歩きの間で何度あったでしょうか。

(今回のまち歩きで一番驚いた事がこの事でした)
私は、何故マンションと町家が立ち並んでいても、京都というまちの雰囲気はここに引っ掛かるのだろう、いつも不思議でした。
でも、今回の経験で少しわかったような気がしま

す。

(そして少しうらやましいです)
たとえマンションのみになったとしても、このような人の付き合い方をする本能がある限り、永遠に本能なのだろうなと思います。
(文化とは人の生活そのものなんだな、と改めて思いました)

当日はほんとうにいい天気でした。
みなさん自身が太陽という力を借りることなく、笑顔で輝いていました。
私もみなさんに負けないように輝きたいなど、つくづく思いました。

本能を発見する事ができて良かったです。ほんとうにありがとうございました。

(写真は三条通を釜座から西を見た風景)



や壁面に骨董品の遺物が見つかること等でした。ユーモアあふれる各班の報告に、しばし時間を忘れて聞き入りました。

参加者の話し合いでは、次のような意見が出されました。

- 家の前の手入れされた植栽とか植木鉢は、通る人をも気持ちよくさせ、町並みの美化に貢献されているので、その労に報いる賞などがあればよい。
- 鉾町では、新しくできるマンションと協力して、マンション内に山鉾の収納庫や飾りつけの場所、お囃子の練習やお祭見物のための町会所を設けるようにして、マンションとの共生を図っている。
- 馬場染工さんに展示されている「西洞院川の小石」にロマンを感じた。残しておいても・・・と思われながら、家の中に日の目を見ずに眠っている物があるのではないか。何でもよいような物でも、利用の仕方によっては、新たな魅力ある資源となるかもしれない。
- 現在制作中の「まちなみ姿図」を町内案内マップ等にも生かすことができればよい。
- 伝統産業の職人さんのもとでは、非常に質の良い品が安く作り出されている。



展示作業中



話し合い風景

そのような情報を発信するシステムがつくられるともっと売れるであろうに、もったいない気がする。

写真に収めようと心がけて町を歩くと、普段目に入っていたり、話に聞いたりすることでも、じっくり見るのは初めてというものがあり、私

達の住むまちの魅力を再発見する機会となりました。

当日飛び入り
大歓迎！

本能まちづくり委員会の総会開催日

平成13年6月2日（土）午後4時より

ばしょ：元本能小学校2階作法室 油小路通蛸薬師下ル

お知らせ

増改築や新築をお考えの方

本能に似合う建物などを一緒に考えませんか？

本能に似合うまちの姿とはどのようなものでしょうか？

皆さんのご自宅や工場、マンション、ビルなどでまちなみは成り立つものから、こうした問題はみんなで一緒に考えていくことが大切です、

そうすることでよい考えが浮かぶかもしれません。

しかしどこで話をすればよいか、と思われる方もいらっしゃるでしょう。

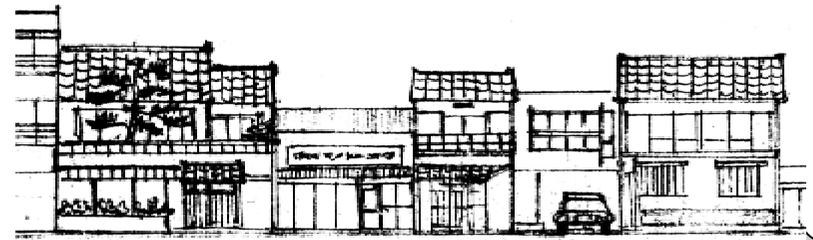
まちづくり委員会のメンバーでもある大井さん、羽田さんは一級建築士など専門の

資格があり、建築の相談に無料で対応してくれます。

増改築や新築をお考えの方、一度ご相談されてはいかがでしょうか？

（これは設計事務所を紹介するものではありません。気楽にご相談ください。）

連絡先：大井 市郎（越後突抜町） TEL. 211-6559



住みたいまち 育てたいまち 働きたいまち 本能

本能まちづくりアンケートにご協力を!!

5月31日（木）締切

編集後記 古いものをも受け継ぎながら、新しいものを取り込み、伝統と新鮮さが共生できることがまちづくりの理想かなと考えた、まち歩き第3弾でした。（N村）

とても暑い一日でした。路にはそれぞれの顔がありました。町屋が似合う、鉾が似合う、マンションが似合う。すばらしい路にはすばらしい人たちが住んでいます。（M.O）